

Q 巣子駅利用の向上策は

A 課題解決へ早期に対応



▲運行開始した巣子地域循環バス

Q1

巣子駅が開業して以来3カ月以上経過したが、予定乗降者数2,800人に対し約21%の600人と低調に推移している。利用率向上のために課題解決の対処促進をすべきと考え伺います。

- ① 駐車場整備の見直しは。
- ② 地域循環バス運行開始の時期は。
- ③ 巣子駅線の残る地権者との交渉は。

A1

① 駐車場は開業時に仮設駐車場として20台分確保しましたが、満車状態が続き別に仮設で15台分増やす予定です。計画の100台の駐車場は12月供用開始の予定で工事を進めます。

- ② 循環バスの運行は、公安委員会や国土交通省東北運輸局などと協議を重ねており許可がおり次第運行を開始する予定で、今のところ7月上旬になる見通しです。
- ③ 巣子駅線の一部未買収部分の交渉経緯は17年1月から用地交渉を開始し、その時点より地権者からある村民を代理人として委任した旨の通知があり、一時撤回したものの本年1月に再度、同じ人に代理人委任したとのことで、交渉を継続中です。

6月に代理人から7月中旬までには契約したいとの前向きな話がありました。また地権者は代替地移転を望んでおり現在適地を探しているところです。



黒沢 明夫 議員 (しんせう)

2007年問題の対応は

Q2

- ① 2007年問題への認識は。
- ② 本村の団塊の世代の人数は。また役場職員の数も。
- ③ 団塊の世代の大量退職への対応策は。

A2

① 高度成長期を支えた団塊の世代の大量定年退職が2007年から始まり労働市場や企業経営、地域社会などに無視できない影響を与えることだと認識しており、人材活用や移住促進を図るべきと考えています。

- ② 村の団塊の世代は2,863人、職員は今後5年間で25人が定年退職となります。
- ③ 団塊の世代の豊富な知識と社会経験を活かすよう地域づくりへの参加促進を図る各種施策を展開していくよう考えます。